

よくある質問集(Q&A)

Q.1	対象となる加工品の定義はなにか(4月24日文言変更)
A.1	原則として食品衛生法に定義される加工食品であり、販売にあたって <u>食品表示の販売者又は製造者の欄に申請者の名前があるものが対象となります。</u> (食品衛生法では加工食品に該当しないものも、一部対象としています。⇒Q.10)
Q.2	自宅に加工所を建てて加工品を作りたい
A.2	加工所の建設費、施設や機械の購入費は対象になりません。自宅の加工所で作る場合、商品のレシピ開発やラベル、パッケージ、原材料(自身が生産した農産物以外の部分)などの費用は対象になります。
Q.3	料理研究家をやっている娘に商品開発を委託したい
A.3	三親等以内の親族への支出は補助対象になりません。それ以外の部分は補助対象とすることができます
Q.4	開発する商品のレシピは市内レストランのシェフに、製造は福祉作業所に委託を考えている。この場合の下限事業費はどうか
A.4	製造を福祉作業所に委託している場合は、製造費以外の科目も含めた事業費総額の下限が5万円になります
Q.5	すでに商品化されているジャムのラベルとパッケージをリニューアルしたい
A.5	デザインや印刷等のラベルとパッケージに関する費用のみ対象になります。ジャムそのものはリニューアルしていないので、ジャムの製造に関する経費は対象外です
Q.6	すでに商品化されているジャムをリニューアルしたいが、リニューアルの範囲はどこまでか
A.6	既存の商品の一部を変更した場合はリニューアルに該当し、変更した部分のみ補助対象となります。但し、レシピを変更しない場合の製造委託費、デザインを変更しない場合の包装・ラベル作成費は対象外です
Q.7	すでに商品化されているジャム(瓶詰)に、個包装(袋入り)のバージョンを追加したいが、これはリニューアルと新商品のどちらになるか
A.7	既存の商品と並行して販売するのであれば、新商品として扱います。瓶詰のジャムを袋入りに変更するのであればリニューアルに該当します
Q.8	ニンジンを使用してレトルトのニンジンカレーを作りたい。原材料のニンジン以外の部分は清瀬産ではないが、補助対象になるか
A.8	原材料の全てが地場産である必要はありません。商品の主たる要素が、地場産かどうか判断基準となります。「ニンジンカレー」であれば、ニンジンが主なので、対象となります。例えば、「松阪牛カレー」での材料の一部に清瀬産ニンジンを使用している場合、この商品の主たる要素は松阪牛と考えられますので、対象外になります
Q.9	レトルトのカレーとシチューの2商品を作りたいが、2件申請できるか
A.9	申請は1人1回までです。2商品作りたい場合、1回で2商品をまとめて申請することはできません。

Q.10	摘果した果樹や剪定枝を炭に加工してインテリアとして販売したい(4月24日文言変更)
A.10	食品以外の農産加工品(残渣、剪定枝、畜糞等)も令和5年度より対象となります。なお、Q1と同様、販売にあたって販売者又は製造者の欄に申請者の名前があるものが対象となります。
Q.11	ニンジンペーストを加工して病院や福祉施設の給食用に卸したい
A.11	一般消費者向けに小売りしない商品は補助対象になりません。
Q.12	カット野菜を販売したい
A.12	食品衛生法に定義される加工食品には該当しませんが、本事業の主旨に照らして農産加工品とみなし、対象とします。
Q.13	ニンジンを使ったケーキを、洋菓子店で作ってもらい、洋菓子店で販売してもらおう
A.13	対象になりません。申請者自身が販売者として自ら販売するものが対象です。
Q.14	製造した加工品は、全て息子の結婚式の引出物として招待客に配布する予定だ
A.14	一般消費者向けに小売りしない商品は補助対象になりません。
Q.15	農業団体として申請するために新たに親しい農家とグループを作ろうと思う
A.15	グループの実態がわかるよう会則を提出いただきます。内容によっては追加で資料の提出をお願いする場合があります。
Q.15	天候不順で収穫が遅れ、完成時期が予定より遅くなりそうだ
A.15	令和6年3月31日までに実績報告が出来ない場合は、交付事業遅延等報告書を提出してください。

(令和5年4月24日更新)